

都立府中東高校 ボクシング部

少し高校のボクシングや本校ボクシング部についてご説明します。

ボクシングは経験がないと無理かな…と考えている方々、そんなことはありません。興味のある方は是非、練習を見学または部活動体験にお越しください。大歓迎します。

ボクシング経験のある他校の選手から勝利を収めたり、東京都予選を勝ち抜き、関東大会や関東選抜大会に出場したりした本校部員は、全員が本校で練習を開始しました。

高校ボクシング

高校ボクシングは練習を開始して1年が経過してから試合に出場します。私立の強豪校には高校入学前から1年以上の練習経験を積み、1年生から大会に出場する選手もいますが、高校からボクシングを始めた初心者は1年間しっかりと基本練習を積んでから、2年生でデビュー戦を迎えます。本校選手も同様です。

また安全面の配慮も徹底されています。アマチュアボクシングは細かくルールが定められており、試合にはリングドクターが帯同しています。試合中の大きな事故や怪我などはほとんどありません。また、本校にはボクシング指導経験のある指導者が複数名おりますので、練習中の大きな事故や怪我はありません。

ボクシングは1対1で相手と競い合います。相手に立ち向かう勇敢さや、本人の努力は必要となりますが、高校から競技を始めても勝利をつかむことができるスポーツです。

設備

本校ボクシング部の設備をご紹介します。

府中東高校ボクシング場には公式戦を行っているボクシングリングやサンドバッグが常設されており、練習環境としてはボクシングジムや有名私立高校のボクシング場と比較しても、何の遜色もありません。また用具も充実しており、グローブなど高価なものを個人で用意する必要はありません。個人で用意するものはバンテージやマウスピースなど個人で使用するものだけですので、費用もそれほどかかりません。



リング正面には「勇猛果敢」の四文字が掲げられており、文字通り、勇猛果敢に試合に臨めるよう、部員たちは精いっぱい努力を続けています。